

## 海技教育機構 第1回研究発表会の開催結果について

1. 実施日時：平成28年9月29日（木）10:30～17:00
2. 実施場所及び発表件数  
 会場：共用第1会議室（件数 発表7件・特別講演4件）  
 共用第2会議室（件数 発表6件）
3. 聴講者について
  - (1) 機構内：84名（うち海技大学校WEB中継16名）
  - (2) 機構外：57名（うち海技大学校WEB中継2名）

官公庁	11名：海事局、海上保安庁、国土技術政策総合研究所、関東運輸局、東京消防庁
研究機関	12名：海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、電子航法研究所）、海洋研究開発機構
学校・大学	7名：東北大学、東京海洋大学、神戸大学、東海大学、神奈川県立海洋科学高等学校
民間	12名：内航海運新聞、日刊ジャパン SHIPPING ニュース、日本海運集会所、(株)商船三井、旭タンカー(株)、日本マリン(株)、ダイハツディーゼル(株)、新潟原動機(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、三井造船(株)、鶴見サンマリン(株)
その他	15名：日本海難防止協会、海技振興センター、日本船主協会、日本船長協会、全日本船舶職員協会、海技資格協力センター、日本海洋レジャー安全・振興協会、船員災害防止協会、日本船員厚生協会、日本海事協会、伊勢三河湾水先区水先人会、帆船日本丸ガイド、航海訓練所OB

4. アンケートについて
  - (1) 回収率 33.6%（配布 125 枚 回収 42 枚）

(2) 集計結果

① 所属

官公庁	6名
研究機関	9名
学校・大学	5名
民間	9名
その他	7名
機構職員	6名



② 発表会に来た目的（複数回答）

研究の参考	11
業務の参考	26
共同研究者の発表があるため	5
情報交換	7
興味があるから	11
その他	2



③ 専門分野（複数回答）

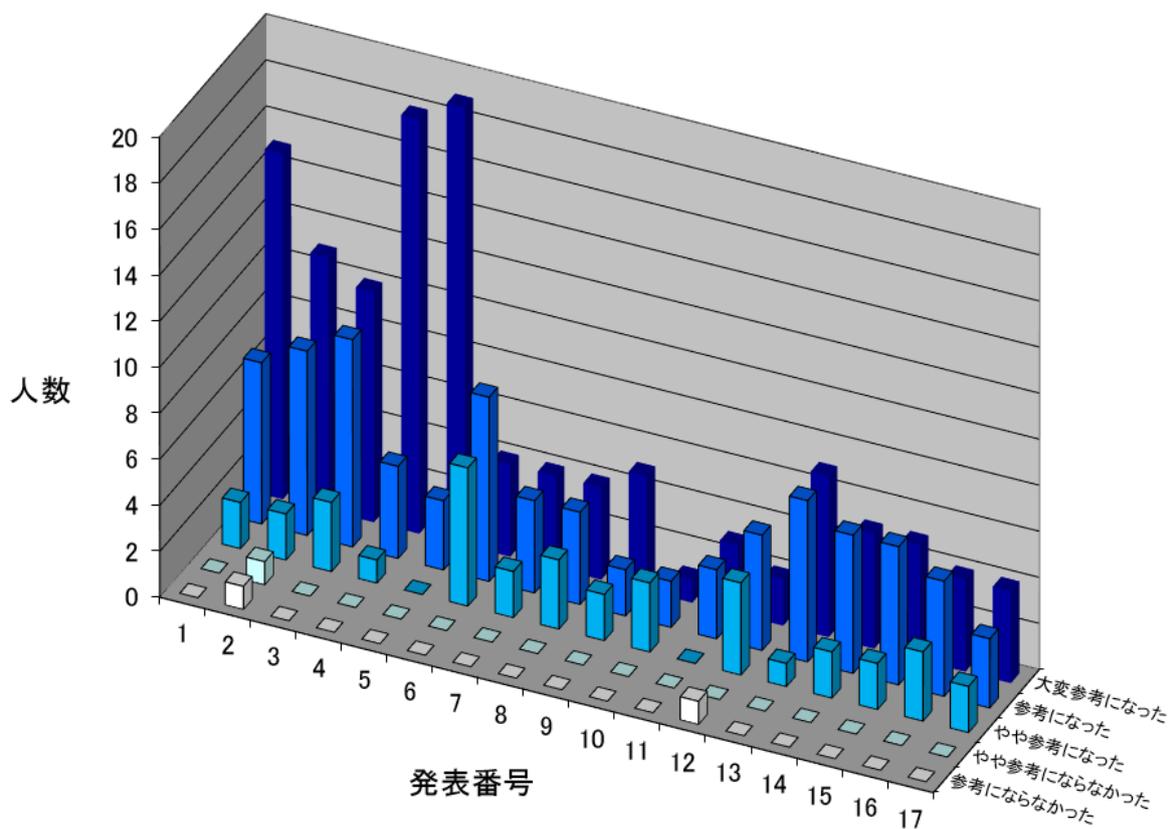
教育	13
研究	12
開発	4
海事	20
その他	6

④ 研究発表会を何で知ったか（複数回答）

送付プログラム	12
ポスター	5
ホームページ	7
当機構関係者から	20
その他	1



⑤ 聴講した発表に対する参考度についての5段階評価



発表番号	題目	評価数
1	【特別講演】北極海航路の安全運航のための基礎研究	24
2	IMOの極海コードに係る訓練要件の策定と訓練課程の準備状況	23
3	IGFコードに対応する訓練課程の準備状況	22
4	【特別講演】安全の新しい捉え方 Safety-II とレジリエンスエンジニアリング	23
5	【特別講演】 Safety-II 概念に基づく良好事例からの教訓獲得と安全性向上	22
6	【特別講演】教育・実習への適用のための機関点検支援システムの機能拡張	18
7	6級航海専修に対するオンボード操船シミュレータ装置を活用した実習手法について	10
8	機関室シミュレータを用いたERM訓練について —ERM教育訓練に対する意識醸成—	11

9	プロジェクションマッピング技術を利用した機関シミュレータ開発について	9
10	海技大学のボイラ設備を用いた船員教育訓練プログラムの策定	6
11	海外の海事英語教育事情（その1）VMUとGMUについて	6
12	海王丸の帆走性能について	12
13	船舶における密閉区画からの救助に関する調査研究	15
14	船陸間マルチメディア通信の効率化に関する調査研究 －GPS ロールオーバーに対する練習船内での障害対応事例－	13
15	Availability of Navigational Fusion System for Small Domestic Vessels	13
16	大成丸の錨泊時における振れ回り特性及び荒天錨泊法に関する研究	12
17	船舶の安全衛生管理業務について －船舶衛生管理（免除）証明書取得の観点から－	9

## ⑥ 研究発表会の内容についての感想及び意見

- ・大変興味深い特別講演でした。
  - ・船の現場の研究が活発になるよう期待しています。
  - ・タイムリーな内容で良かった。
  - ・一人一人の持ち時間はちゃんと確保していただきたい。
  - ・前の発表者の時間がおしたのに、次の発表者にしわ寄せがあるのは変だと思う。
  - ・北極海航路の航海・操船実務に関し、一般海域とは異なる知識、注意事項及びテクニック等が必要であることがよく理解でき、見張りの大切さがよく理解できた。今後、IMO の会議等で日本代表のアドバイザーとして出席する機会があると思うが、そのときの資料として役立つ内容があり参考となった。
  - ・Safety-IIのお話は大変興味深いものでした。できればもっと長い時間で講演を聴くことができれば更に良かったと思います。
  - ・昨今のトピックと、平素からの教育訓練関連のテーマとのバランスがうまくとれた内容だった。
  - ・私どもの研究分野でもモードは違っても共通の要素があることを痛感いたしました。色々と示唆に富んだ研究発表で参考になりました。
  - ・特別講演は他の交通モードでも同じ課題をかかえており、大変有意義でした。次回も期待いたします。
  - ・有意義であった。
  - ・Safety-IIの考え方が興味深かった。
  - ・大変勉強させていただきました。特にレジリエンスエンジニアリングについては、大変深い感銘を受けました。
  - ・Safety-IIについて更に深く知りたいと考えております。
  - ・プロジェクションマッピングは最先端技術で是非完成を期待いたします。
  - ・訓練支援用のツール開発などを行っていますが、興味深い内容があり、大変参考になりました。他の分野ですが、共通点など見いだせたかと思いました。
  - ・プレゼンの中で、資料の文字が小さく見え難いものがありました。大事な資料なので、是非見やすくなるような工夫をしていただきたいです。
  - ・各県立水産高校は船員供給諸国家よりもさらに財政基盤が弱いので、プロジェクションマッピングシミュレータには、とても興味を持ってました。
  - ・海事分野の国際・国内の最新情報に適切に対応した教育・訓練に励まれていることがアピールされていると思った。
  - ・Safety-IIによる良好事例からの教訓は、安全にかかる職場での管理を担当する者として、新たな教育ファクターとなり、研究を進めていきたいと考えています。
- [海大会場]
- ・レジデンスの考え方をこの先、広める活動を船舶の安全に含めたい。
  - ・Safety IIの概念は良い。

- ・機構内研究発表として内容はとてもふさわしいと思います。
- ・どのような調査研究を行っているのか理解できた。

#### ⑦ 研究発表会全体についての感想及び意見

- ・今後とも教育・訓練にかかる最先端を行くものとの立場での各種情報発信・サービスを期待致します。
- ・かけ足過ぎると感じた。
- ・一人の持ち時間を多くしてほしい。深い話まで聞きたい。
- ・初めて出席しましたが、もっと出席者が多いと思いました。貴機構だけではなく各学校やメーカー等にも広く周知してはいかがでしょうか。
- ・内容が深いので若干時間が少ないと思いました。ですが概要について、とても良くわかりました。
- ・海大との研究発表会との内容・コンセプトの違いを明らかにした上で、両者並走する形で今後も続けてほしい。
- ・会場の立地、設営等、大変適切であると思います。
- ・非常に内容が濃く、有意義な時間でした。
- ・スクリーンサイズが大きい方がよろしいかと存じます。
- ・時間内に終わらない発表が多々ありました。
- ・研究発表会であるが、単なる紹介で、この目的に合っていないものがあつた。今後は研究発表を期待したい。
- ・特別講演の持ち時間が少し短いように感じました。
- ・またプレゼン時にスクリーン近くの照明をおさえていただけると、プレゼン資料が見やすくなったかと思います。
- ・発表時間を超えるケースが数件みられましたが、円滑な会の進行のためにも時間内におさまるようにされると良いかと思いました。
- ・今回第1回目（統合後）ということで、多くのアイデアが盛り込まれていた。海事局長が参加されて、期待されている雰囲気アピールできたと思う。
- ・研究発表項目が多く、時間が不足していたと思われる。

[海大会場]

- ・密閉区画等、最近取り入れられた訓練等に、現場は困難とされ、身についていません。実用的な訓練方法等の研究をお願いいたします。
- ・芦屋に配信して頂き、ありがとうございます。
- ・横浜と芦屋をWEBで結ぶことで、直接、会場へ行かなくても聴講できることは、非常に良かったです。

#### ⑧ 統合した海技教育機構に今後期待すること

- ・革新的な内容の研究はもちろん、基本的・基礎的な現場に直結した研究も進めていただきたい。また海大の知見と練習船での知見の融合にも努めていただきたい。
- ・国際条約やルール等が基本になっていることは理解するが、運用面で船社の方にも目配り、わかりやすい講習等を運営していただければありがたいと思います。
- ・技術は日進月歩、時代の変化は著しいのですが、実践的な教育訓練・即戦力の育成を期待しています。
- ・大変規模も大きくなり、負われる使命も国際的に重要なものと思います。国内のみでなく、グローバルな視野での活躍を期待しております。
- ・船陸一貫かつ海技士にこだわらず、新海洋産業従事者を含めた海の総合教育訓練機関として機能していただきたい（海運にこだわる必要はないと思う。）。
- ・研究機関としての交流を促進していければと思います。
- ・世界一の海技教育機関であってほしいと思います。
- ・海洋基本法の施行にもかかわらず、日本人の海離れに歯止めがかからない。これに対し、貴機構の広報的な活躍に期待しております。

- ・世界をリードする教育・研究を目指してください。
- ・訓練・教育機関を研究機関が統合されることは、非常に素晴らしい環境と思います。研究内容が教育カリキュラムや訓練プログラムに反映され、その効果があらわれることを期待します。
- ・練習船隊（旧航海訓練所）の研究の深化と旧海技教育機構（海大をはじめとする諸学校）の船舶運航実務に対する理論的関与、相互の往還による統合効果の目に見える社会への還元。研究発表会を毎年楽しみにしております。
- ・新人の教育・訓練に加えて、船員への特別訓練への充実を目指してほしい。

[海大会場]

- ・国際情勢への対応という点ですますます活躍されると思います。一方で、研究という点では、現場の工夫+ $\alpha$ のように感じられ、大学との連携が必要と思量します。
- ・船舶でのデータ収集は練習船、解析は旧海技教育機構という形で、協力して1つのテーマの研究に取り組めるとよいと存じます。
- ・脳力だけでなく、戦力となる人材の育成をお願いします。

#### 【教育研究課長コメント】

- ・記録のある限りにおいて、旧航海訓練所時代を通じて最多の聴講者数であった。
- ・特別講演はたいへん好評であった。特に、北極海航路は注目されている最新のトピックとして、また、**Safety-II** 及びレジリエンスエンジニアリングは、安全の新しい概念として、非常に興味深かったという意見を多数いただいた。今後も、特別講演を充実させていきたい。
- ・発表時間が短いという意見が多かった。外部の学会等でも研究発表で20分（発表15分質疑5分）の持ち時間は一般的であり、発表者には時間内で簡潔かつわかりやすい発表を心がけるようお願いしたい。
- ・芦屋会場への**WEB** 中継は、現地からも好評価を受けた。同会場からの質問があったことも、発表会を活性化させたものと思量する。
- ・統合により海陸一体となった研究機関としての**JMETS** に期待する声が、多く寄せられた。

以上